

新型コロナ克服戦略おおまち再生プランの総括評価について

1 新型コロナウイルス感染症の発生からの経過

新型コロナウイルス感染症が2019年(令和元年)12月に発生が確認されて以降、世界的流行により未曾有の経済停滞にさらされ、経済社会活動の抑制を余儀なくされた。日本においても、令和2年4月から約1ヶ月半に及ぶ緊急事態宣言が発出され、当市においても、基幹産業である観光業や、飲食業などの地域経済が受けた影響は予想以上に大きく、立山黒部アルペンルート営業休止に伴う市内の旅館業においては、今後の存続にも係わる程の大きな影響を受けることとなった。こういった状況を踏まえ、市では令和2年8月に概ね2年程度の計画期間とした、新型コロナ克服戦略おおまち再生プランを策定し、市民の暮らしの底支えと事業者等への広範な支援に取り組んだ。

令和4年8月には、再生プランの見直しを行い「新型コロナ克服戦略 おおまち再生プラン Ver. 2」を策定し、市民の命と健康を守るとともに、「新たな日常の再構築」による大町市の再生+ α (成長)に向け、さらなる施策の展開に取り組んできたところである。

(1) 長野県内の感染患者数の推移と流行期の推移



(長野県ホームページ 感染症発生動向調査による集計結果より作成)

2 新型コロナ克服戦略おおまち再生プランについて

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の活用により、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するため緊急経済対策を行ってきた。新型コロナウイルス感染とともに生きる「Withコロナ」を余儀なくされる中で、市独自のビジョンや具体的な取組みを「見える化」することで市民の皆様と心をつにし、困難な状況を乗り越えるコロナの出口戦略として、令和2年8月に新型コロナ克服戦略おおまち再生プランを策定した。

この再生プランでは、「市民の生活を守る」、「地域の活力を再生する」の2つを柱に、国の緊急経済対策における施策の枠組みをベースとした、「命と健康を守り感染症防止等への取組み」、「暮らしを守る取組み」、「経済・産業活動等の再生」、「持続可能な社会経済構造の構築」の4つの方針により「新たな生活様式」に根差した大町の再生に取り組んだ。

3 新型コロナ克服戦略おおまち再生プランの実績と見直しについて

再生プランでは、計画期間を概ね2年程度としてきたが、新型コロナ感染症の影響による失われた平穏な暮らしや街の活気を取り戻すため、引き続き市民の命と健康を守り、「新たな日常の再構築」により大町市の再生に向け、再生プランの見直しをおこなった。これまでの計画に加え、特に With コロナに対応した地域経済、産業活動等の再生・成長に向け積極的な取組みとなるよう、「地域活力の再生+ α （成長）」により充実を図り、令和4年8月に「新型コロナ克服戦略 おおまち再生プラン ver.2」を策定した。

(2) 令和4年度 内部評価（令和2年度～3年度事業）

施策項目	順 調	概ね順調	R4以降 実施	事業完了	合 計
市民生活を守る					
1 命と健康を守り感染症防止等への取組み	47.1%	41.2%	0	11.7%	100%
2 暮らしを守る取組み	11.5%	26.9%	23.1%	38.5%	100%
地域の活力を再生する					
3 経済・産業活動等の再生	20.9%	55.8%	9.3%	14%	100%
4 持続可能な社会経済構造の構築	18.8%	81.2%	0	0	100%
合 計	26.1%	48.7%	8.4%	16.8%	100%

4 再生プラン ver.2 における令和4年度の取組状況と効果検証について

令和5年度には、新型コロナウイルスの感染法上の位置けが5類に移行に移行したことを受け、「新型コロナ克服戦略 おおまち再生プラン ver.2」に掲げる具体的施策について、令和4年度の取組状況や効果を検証するため内部評価を行うとともに、大町市総合戦略推進委員会において外部評価として意見をいただいた。

(1) 令和5年度 内部評価 (令和4年度事業)

施策項目	順調	概ね順調	R5以降実施	事業完了	合計
I 市民の命と生活を守る					
1 継続した感染症対策への取組み	28.6%	42.8%	0%	28.6%	100%
2 強靱な地域づくりに向けた取組み	21.4%	64.3%	0%	14.3%	100%
3 子ども・子育て世帯への支援	22.2%	22.2%	0%	55.6%	100%
4 事業者等への支援	50.0%	25.0%	0%	25.0%	100%
5 市民生活の支援と行政サービスの維持	20.0%	40.0%	10.0%	30.0%	100%
II 地域の活力再生+α (成長)					
1 観光地の再生と交流・関係人口の創出	52.9%	23.5%	5.9%	17.6%	100%
2 起業・創業支援と労働力の確保	37.5%	50.0%	12.5%	0%	100%
3 人材育成と学習環境の整備	20.0%	40.0%	0%	40.0%	100%
4 市内消費喚起と地域特産品の振興	0%	80.0%	0%	20.0%	100%
5 持続可能な地域社会の形成	0%	100%	0%	0%	100%
合計	27.6%	47.1%	3.4%	21.8%	100%

(2) 外部評価における主な意見 (総合戦略推進委員会 実施日:令和5年9月25日)

① 全体

- ア コロナ禍により地域のコミュニティが薄れ、災害などの非常時の対応等に支障が生じることも考えられるため、コミュニティの再構築が課題である。
- イ コロナに対する市の対応が、様々な面で非常に早かったという印象を持っている。予防接種の対応や様々な連携、国からの補助金も有効に活用し、非常に手際よく対応されていて非常に良かった。

② 「市民の命と生活を守る」について

- ア コロナ禍で移住相談が増加傾向にあるが、空き家はあるが使用できない状況のものがあるため住環境の整備が必要である。
- イ 断水や停電などのほか、災害の時の対応などの視点から、SNS を活用した迅速な情報発信についてさらに検討いただきたい。
- ウ コロナによる人権を侵害しないための周知等については、きちんと行われて

いた。

③ 地域の活力再生+α（成長）について

- ア 観光関係については、大変なダメージを受けたが宿泊キャンペーンなどを実施いただき、今年はある程度持ち直しつつあるというような状況であり、その部分では評価できる。
- イ 黒部ダム観光混雑分散化事業については混雑状況の把握とともに、今後の具体的な展開についてもさらに検討を進めていただきたい。
- ウ 地域経済分析システムなどの客観的なデータをさらに活用いただきたい。
- エ がんばろう大町応援券について、将来に向けてキャッシュレス化の制度設計等を検討いただきたい。
- オ 農産物の輸出について、氷河など市が持っている優位性を生かしたブランド戦略が重要である。
- カ 中心市街地の空き家や空き店舗、駅前の活性化対策を検討いただきたい。
- キ トイレについて接触しなくていいように工夫し改善しているところもあるので、トイレの整備も検討したらどうか。
- ク 学校跡地等を IT 関連産業（ネットワークを活用して働く人）の方の働く場として活用した活性化を検討したらどうか。
- ケ 燃料や電気代の高騰は、様々な事業者の経営にとって負担が重いため、指定管理施設を含め幅広い支援策を検討いただきたい。

5 令和5年度を取組結果と効果検証について

再生プランについては、令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染法上の位置けが5類に移行したことから、計画期間を令和5年度末までとして、それ以降は必要に応じ通常の事業として取り扱うこととした。これをもって計画終了となることから、最終年となる令和5年度に実施した事業における取組や今後の方針について評価を行い、総括的な評価としてまとめる。

(1) 令和6年度 内部評価（令和5年度事業）

施策項目	達成	概ね達成	要改善	未実施	合計
I 市民の命と生活を守る					
1 継続した感染症対策への取組み	71.4%	0%	0%	0%	100%
2 強靱な地域づくりに向けた取組み	14.3%	71.4%	0%	0%	100%
3 子ども・子育て世帯への支援	33.3%	11.1%	0%	0%	100%
4 事業者等への支援	20%	60.0%	0%	0%	100%
5 市民生活の支援と行政サービスの維持	20%	20.0%	0%	0%	100%
施策項目	達成	概ね達成	要改善	未実施	合計

II 地域の活力再生+α（成長）					
1 観光地の再生と交流・関係人口の創出	17.6%	58.8%	0%	0%	100%
2 起業・創業支援と労働力の確保	25.0%	50.0%	0%	12.5%	100%
3 人材育成と学習環境の整備	40.0%	20.0%	0%	0%	100%
4 市内消費喚起と地域特産品の振興	0%	80.0%	0%	0%	100%
5 持続可能な地域社会の形成	0%	100%	0%	0%	100%
合計	27.6%	48.3%	0%	1.1%	100%

6 総括

再生プランでは、「市民の命と生活を守る×地域の活力再生+α（成長）」の2つの柱により、状況に応じてプランを見直しながらコロナ禍を克服し新たな地域社会に向けて取り組んできたところである。

評価は、67事業の目的に対して「A：達成・B：概ね達成・C：要改善・D：未実施」の4段階により行い、達成27.6%（24）、概ね達成48.3%（42）、要改善0%（0）、未実施1.1%（1）の結果となった。

継続となる54事業については、第5次総合計画の基本的な理念の下、通常施策として実施計画等に取り込みながら、引き続き大町市の再生に向けて取り組んでいくものとする。

（1）再生プラン実施事業における事業完了数

施策項目	新型コロナ克服 戦略おおまち 再生プラン		新型コロナ克服 戦略おおまち 再生プラン Ver. 2			通常の 事業 として 継続
	事業数	R3 事業 完了	事業数	R4 事業 完了	R5 事業 完了	
I 市民の命と生活を守る	60	17	45	12	10	23
II 地域の活力再生	59	6	42	8	3	31
合計	119	23	87	20	13	54